



アートスペース  
**AQueria - あきゅりあ -**  
 住所：沖縄県宮古島市城辺字福里 574-14  
 電話：090-8837-3109

## 宮古島の芸術家

子どもの頃から描くことが好きで漫画などを描いていたという西里さんは、趣味でオカリナや俳句もたしなむ好奇心旺盛な方です。2006年4月に、絵画教室『アトスペーアAQueria（あきゅりあ）』を開設し、市内の生徒に絵を教えています。

## 偉人に嫉妬!?

「小・中時代は、世界の偉人の伝記をたくさん読んでいました」そう語る西里さん。伝記を読むうちに、「自分はなんて悪い時代に生まれてしまったのだろう」と考えるようになったそうです。「この世の中のすばらしい発明や偉業は、過去の偉人によって全てやり尽くされてしまっているのではないだろうか。もはや自分が活躍できる場は残されていないのではないか」と考えた西里さんは、「絵なら自分の入り込む余地があるの

## 受賞、そして変化

以前は、宮古島の外ばかり見ていた（遠い世界にそこがれていた）という西里さん。今回、目標を達成したことで肩の荷が下り、これからは自由に絵を描くことができる実感した時に、湧き上がったのは育ててくれた宮古島への感謝でした。宮古島を絵で表現したいと強く思うようになったそうです。

では？じゃあ自分はすごい絵を描いてみたい」と思うようになったそうです。「自己実現の場を絵に求めたんですね」と本格的に絵を始めたきっかけを語ります。

## 裸の絵を描く理由

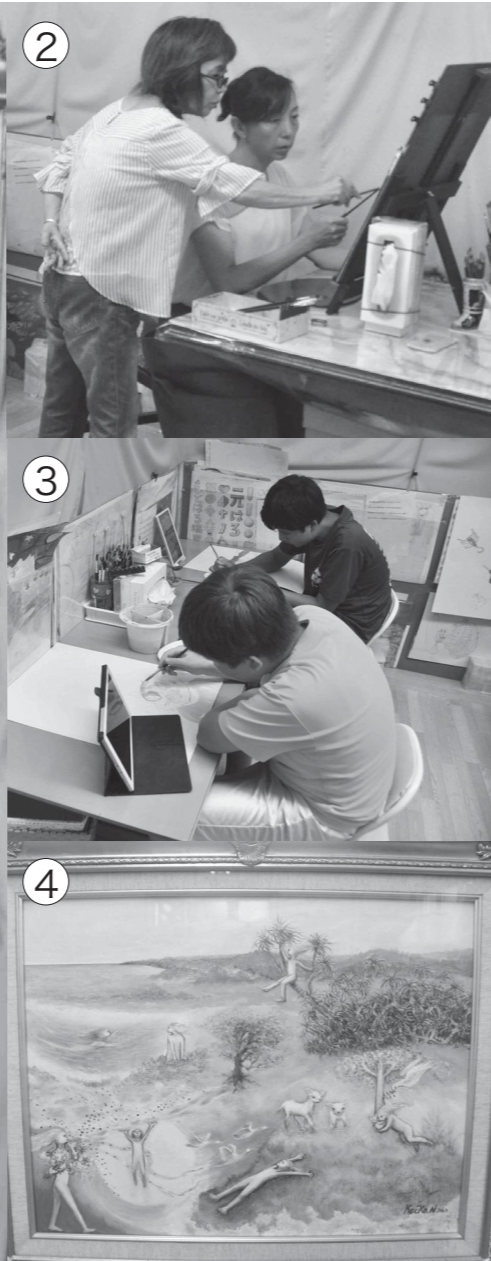
西里さんの描く絵には、服を着ていない人物が数多く登場します。それは、何ものにも縛られたくないという、西里さんが元来持っている自由を求める気質に由来していました。「服を着てしまおうと、和服なら昔の日本、ドレスを着ていたら西欧諸国だな、と絵の時代背景を見る人に限定させてしまいます。そうではなく、時代や国で限定されない、人が生まれながらに持っている感情や心理を純粹に表現したいんです。私自身、何かに縛られるのが嫌いなんですよね。」と語る西里さん。そこには自由を追い求める芸術家の顔がありました。

## 宮古島に夢を描く

最後に西里さんの今後の目標をきかせてもらいました。「太陽の時代から按司の時代、そして現代に至るまで宮古島の歴史を絵巻物で表現したい。それを通してこれから宮古島を担う子どもたちに宮古島の歴史を伝えることができたら良いと思います。」西里さんは、今後も夢をのせて絵を描き続けます。



①②③絵画教室あきゅりあの授業風景。小学生から大人まで幅広い年代が通っていて、自由で和やかな雰囲気。④天使のような裸の人を描いた作品。神秘的かつ開放的なイメージが伝わってくる。⑤作品の前に立つ西里さん。授業中の真剣な表情と変わって朗らかな表情。周りをパッと明るくするような素敵な方。好きな食べ物はカレー。



①  
 授業のコンセプトも自由に描きたいものを。